

消防行政の一元化 広域行政の 更なる取り組みを

議員 東部地域での均一の救急医療体制が提供でき、災害・防災体制の強化も期待できる島本町との消防行政の一元化や今後の取り組みへの見解は。

市長 消防指令業務の共同運用は慎重に検討し取り組みを進めていますが、消防組織法では、市町村は当該区域での消防を十分に果たすべき責任を有すること、市町村の消防の広域化は消防の体制整備等を図ることを旨として行われなければならないことが規定されています。その他の連携は、各団体の現状等を踏まえた慎重な検討が必要と考えています。



▲島本町との消防指令業務の共同運用に向けて取り組みを進める市消防本部

本人の尊厳を守るために 終活支援制度の導入を

議員 超高齢社会の先にある多死社会に突入し、本市でも死者数は増加基調です。多死社会における行政の果たす役割と終活支援制度について見解を伺います。

市長 多死社会の到来により、葬儀や墓地等、故人やその家族に関わる様々な課題の顕在化が予想されるため、行政として適切に対応する必要がありますと考えています。また、終活支援については他自治体の取り組み状況等の把握に努めます。

改革方針で示された 「市営バスの民営化検討」 理由と今後の取り組みは

議員 「みらいのための経営革新」に向けた改革方針でバス事業の民営化を検討とされた理由は。また、新型コロナウイルスの影響で中止されていた検討委員会を開催されるのか伺います。

市長 コロナ禍において

は、全国的に地域公共交通の存続が危ぶまれる中でも市の責務として市民の移動手段を守り抜くとの決意の下、交通インフラを維持してきました。改革方針では、民間並みの経営効率の実現を目指すため、経営形態の在り方も含めあらゆる可能性を排除せず検討することとしており、今後も社会環境の変化を踏まえ、これまでの実績を評価しつつ必要な改革に取り組みます。

教育格差是正のために 習い事・塾代助成事業の 導入を

議員 家庭の経済状況により教育格差が生まれている現実への見解を伺います。また、教育格差是正に効果的な政策として提案してきたい習い事・塾代助成事業に

関し前向きな検討を要望しますが、見解を伺います。

市長 全国学力・学習状況調査での保護者への調査結果では、家庭環境と子どもの学力には相関があると

示されています。格差を是正し全ての児童生徒の学力を育むことは、義務教育の大きな使命と認識しています。本市実施の家庭学習支援事業は、社会経済的な背景にかかわらず、全ての児童生徒に学習意欲等を育むことを目的に行っています。

とりわけ、経済状況の厳しい児童生徒が受講できるよう、引き続き取り組みます。

府下トップクラスの 隠れ待機児童問題への 見解と今後の対応策は

議員 本市では平成26年度より厚生労働省基準で待機児童ゼロを達成していますが、利用保留児童の多さは大阪府下でトップクラスです。問題への見解と今後の対応策を伺います。

市長 市長に就任以降、増加する保育需要に対し、待機児童の解消に向け積極的に取り組んできた結果、平成26年には厚生労働省基準による待機児童数ゼロを達成し、現在も継続してい

ます。今後も、利用保留児童も含め保育ニーズに適切に対応します。

不登校対策 子どもの特性に応じた 対応を

議員 不登校の要因をどう把握し対策されてきたか、また予防策を伺います。その子らしい社会生活と学びを得られることが大切であり、民間施設に通うこと等を出席扱いとする取り組みが有意義と考えます。取り組み実績を伺います。

市長 不登校の要因は、市内小中学校対象のヒアリングによる把握とともに課題を分析し、今後の取り組みを周知しており、未然防止の取り組みとして授業改善等を推進しています。また、学校復帰等を目的に不登校の児童生徒が民間施設に通っている等の場合に一定の条件下で出席扱いにするガイドラインを定めています。